

～強くあれ～

平成28年度 3年B組

BE STRONG!

師走 / 16

学級通信 95号

「準備」の必要性

昨日の総合の時間に、初めての面接練習をしました。2年生の時に何度かやった人もいれば、本当に初めての人もいました。やってみてどうだったでしょうか。

全体的に見て、やっぱりまだまだ練習が必要だと思います。話している内容はもちろんだけれど、服装や姿勢、ドアの開け方や礼の仕方など基本的なところから十分ではない人が多かったです。前もって言ってあったので、もう少し準備をしていてほしかったなあと思いました。

時間もなくて、やる前にもあまり説明ができなかったし、終わった後も個別にはアドバイスをすることができませんでした。もう一度、面接ノートをよく確認して、立ち振る舞いについてはしっかりと復習をしておきましょう。

面接について、「髪の毛が耳や目にかかっているからと言って、何がいけないんですか」という質問をされました。確かに、髪の毛が長いからその人はよくない人だ、という判断はできないし、人を見ただ目で判断してはいけない、ということも言われます。それはそれで正しいと思います。けれど、面接というのは特別な場です。限られた時間でその人のことを判断しなくてはなりません。その判断材料のほとんどは「見た目」です。もっと言うと、面接官はみんなが、「面接をどれだけ重要視して、そのためにどれだけの準備をしてきているのか」、ということを見ているのだと思います。だから、髪を切って相手に不快感を与えないように準備をしてきた、とか、はきはき話し、きびきび動くことで、相手にいい印象をもってもらうための準備をしてきた、という人が面接で好成绩を収められるのではないかと思います。



おそらく多くの方が、昨日の面接練習のための準備をしてこなかったのではないのでしょうか。直前に面接ノートを見たり、友達と質問し合ったりしただけで、それは準備とは言えません。面接官をしていて、「この人は準備をしてきたな」という人はよく分かりました。たとえ言い間違えたり、ちょっとつかえたりしてしまっても、準備の跡が見える人には好印象をもちました。面接はその場しのぎで何とかなるものではありません。できたらもう1回、3学期にやる予定です。それまでに準備を整えておきましょう。

来週の火曜日には「マナー講座」があります。かなり厳しい、ということはあると思いますね。髪型や服装など事前に準備ができることは必ずしておきましょう。「本番ではやる」は通用しません。火曜日が本番だと思って、家を出るときから心構えをしっかりと作っててください。